

2020年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2021年3月25日
研究・研修課題名	緩和薬物療法認定薬剤師の更新または、新規認定取得に係る日本緩和医療薬学会教育セミナーへの参加
研究・研修組織名(所属)	薬剤部
研究・研修責任者名(所属)	土江晴江
研究・研修実施者名(所属)	土江晴江、土井教雄、中元隆浩(薬剤部)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	土江晴江、土井教雄、中元隆浩(薬剤部)
学会名(会期・場所)、認定名等	日本緩和医療薬学会 第23回教育セミナー(2020年12月10日～2021年5月11日・WEB) 認定名: 緩和薬物療法認定薬剤師
演題名・認証交付元等	日本緩和医療薬学会
取得日・認定期間等	土井教雄 (取得日: 2016年4月1日、更新日: 2021年4月1日) 認定期間: 2021年4月1日～2026年3月31日 土江晴江(取得日: 2017年4月1日) 認定期間: 2017年4月1日～2022年3月31日
診療報酬加算の有無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容

① 目的

緩和ケア診療加算では、緩和ケアに係る専従チーム(医師2名、看護師1名、薬剤師1名)での診療が必要であり、薬剤師は緩和薬物療法認定薬剤師が望ましいとされている。また、令和2年度診療報酬改定では、外来緩和ケア管理料の対象に末期心不全および後天性免疫不全症候群の患者が追加され、活動の拡充が求められている。近年、がん治療の初期段階から緩和ケアが並行して行われ、外来で医療用麻薬が開始となるケースが年々増加している。在宅で適切な緩和ケア治療が行われるためには病院薬剤師と薬局薬剤師のさらなる連携体制が不可欠と考えられ、当院では医療用麻薬を使用している患者の苦痛緩和と治療向上を目的に、院外保険薬局と「服薬情報提供書」を用いた運用を開始し双方向の関係性構築を図っている。

以上より、日本緩和医療薬学会の年会や教育セミナーに参加し、緩和薬物療法認定薬剤師の資格更新や新規認定取得を目指すと共に、当院における緩和医療のさらなる充実に貢献することを目的とする。

② 方法

◇日本緩和医療薬学会 第23回教育セミナー

時期:当初は2020年5月29日の予定であったが新型コロナウイルスの影響によりweb開催となった

③ 成果

新型コロナウイルスの影響により、日本緩和医療薬学会第23回教育セミナーのWEBでの開催となった。

この教育セミナーを受講したことにより、日本緩和医療薬学会認定の緩和薬物療法認定薬剤師の取得、更新のための単位(8単位)を取得することが出来た。土井教雄は本年度認定更新試験に合格した。認定機関は2021年4月1日～2026年3月31日である。土江晴江は2021年度に認定更新を予定しており、中元隆浩は資格取得を目指している。

また、講演を聴講することで緩和薬物療法認定薬剤師に必要な最新の知識を習得することができ、研修内容を薬剤部内で報告することにより緩和薬物療法における薬剤部員全体の知識向上に寄与できたものとする。